

創世記59 創世記46章1節～34節

「エジプトへの移住」

イントロ：

1. 文脈を確認する。

- (1) ヨセフは父の家族をエジプトに呼び寄せた。
 - (2) いよいよ、ヤコブの一家のエジプト移住が実行に移される。
 - (3) これから創15:13～14が徐々に成就していく。
 - (4) 歴史の歯車が回る瞬間である。
- ①ヤコブの子孫たちに大きな影響を与える。
②全人類の歴史に大きな影響を与える。
- (5) 日本も今、そういう瞬間を迎えている。

2. メッセージのアウトライン

- (1) 恐れるヤコブ (46:1～7)
- (2) 移住者のリスト (46:8～27)
- (3) 出迎えるヨセフ (46:28～34)

4. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 決断力
- (2) 本気力
- (3) 洞察力

このメッセージは、時代の転換期に立つ私たちが、何に注目すべきかを教えるものである。

I. 恐れるヤコブ (46:1～7)

1. いけにえを捧げた。

- (1) ヘブロンに住んでいたのであろう。
- (2) ベエル・シェバまで来て、いけにえを捧げた。

- ①ベエル・シェバは、カナンの地の最南端。
②父イサクの神に捧げた。
③アブラハムはここで公の礼拝をしている (創21:33)。
④イサクもまた、ここで礼拝をしている (創26:25)。

2. いけにえを捧げた理由

- (1) 神への感謝(ヨセフが生きていた)
- (2) 神との和解(平安の内にエジプトに行きたい)
- (3) 神の御心を求めた(エジプトに下るのを恐れた)。

3. 恐れの原因

- (1) 自分の年齢。130歳。「彼らはまた高い所を恐れ、道でおびえる」(伝12:5)
 - (2) 息子たちの将来
- ①エジプト文化と同化する危険性
 - ②カナンの地を忘れる危険性
 - (3) エジプトでの困難な生活
- ①アブラハムに語られた預言(創15:13)
「あなたはこの事をよく知っていなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう」
 - (4) カナンの地を離れる危険性
- ①アブラハムの失敗(創12:10)
 - ②イサクは神からの警告を受けた(創26:2)。
 - ③ヤコブは、パダン・アラムに逃れた(創28:1~5)。
 - ④これまでにカナンの地を離れることについて神からの許可はない。躊躇した。

4. 神の顕現

- (1) 夜の幻の中で語りかけた。6回目の顕現。
 - (2) 「ヤコブよ、ヤコブよ」
- ①ヤコブを謙遜にさせる。
 - ②2度読んでいるのは、親愛の情から。
 - (3) ヤコブの応答は「はい。ここにいます」

5. 神の語りかけの内容

- (1) 「わたしは神、あなたの父の神である」
- ①アブラハム契約を結んだ神
 - ②ヤコブにその契約が継承されている。
 - (2) エジプトに下ることを恐れるな。
- ①そこで、あなたを大いなる国民とする。
 - ②その成就是、出12:37に書かれている。
「イスラエル人はラメセスから、スコテに向かって旅立った。幼子を除いて、徒歩の壮年の男

子は約六十万人」

③わたし自身があなたといっしょにエジプトに下る。

④わたし自身が必ずあなたを再び導き上る。

*ヤコブはカナンの地に葬られた。

*ヤコブの子孫たちは、カナンの地に導かれた。

⑤ヨセフの手はあなたの目を閉じてくれるであろう(平安な死)。

6. 本当の意味での旅立ち

(1) ベエル・シェバを發った。

①境界線を越えた。引き返せない。

②家族全員を引き連れて。

7. 決断力はどのように生まれるのか。

(1) 御心を確信する。

①ヤコブのように神の顕現を期待すべきではない。

②日々聖書を読み、祈っていると、徐々に分かって来る。

(2) 現状に安住しない。

①慣れ親しんだ方法や組織にこだわらない。

②神からの語りかけがあれば、年齢に関係なし。

II. 移住者のリスト (46: 8~27)

1. ヤコブの子孫全員がエジプトに移住した。

2. 合計70人とある。

(1) レアの息子たち(33人)

①ルベんと4人の息子たち(5人)

②シメオンと6人の息子たち(7人)

③レビと3人の息子たち(4人)

④ユダと3人の息子たち、2人の孫たち(6人)

*エルとオナンはすでに死んでいた。

*ペレツの子は、ヘツロンとハムルであった(エジプトで誕生する)。

*メシアの家系は、ユダ—ペレツ—ヘツロンとつながる。

⑤イッサカルと4人の息子たち(5人)

⑥ゼブルンと3人の息子たち(4人)

⑦以上で31人となる。それにヤコブとディナを加えると33人となる。

(2) レアの女奴隷ジルパの子ら(16人)

①ガドと7人の息子たち(8人)

②アシェルと4人の息子たち、娘セラフ、2人の孫たち(8人)

(3) ラケルの子ら(14人)

①ヨセフと2人の息子たち(3人)

②ベニヤミンと10人の息子たち(11人)

(4) ラケルの女奴隷ビルハの子ら(7人)

①ダンと1人の息子(2人)

②ナフタリと4人の息子たち(5人)

3. 合計66人ともある。

(1) その場合は、70人からヤコブ、ヨセフ、マナセ、エフライムを除く。

(2) 以上は、ヤコブと血縁関係にある者たち。

4. 使徒7:14には75人とある。

「そこで、ヨセフは人をやって、父ヤコブと七十五人の全親族を呼び寄せました」

(1) 70人訳聖書を見ると、創46:27、出1:5には、75人とある。

(2) ヨセフの孫5人を足した数字である(I歴7:14~27)。

5. 実際に移住した人数は、3百人前後であろう。

(1) 良いものに向かって背水の陣で進む。

(2) 約束の地を信仰によって離れる。

(3) ここに本気力がある。

Ⅲ. 出迎えるヨセフ(46:28~34)

1. ユダが先に派遣される。

(1) ユダの優位性

(2) ヨセフに到着を伝えるために

2. ヨセフがゴシェンの地で父を迎える。

(1) 戦車に乗って

(2) 感動的な再会

①22年ぶりの再会

②ルカ 15：20 では、父が放蕩息子に走り寄った。

③ここでは、孝行息子が父に走り寄った。

(3) ヤコブは、今死んでもよいと言ったが、さらに17年間エジプトで生きる。

3. ヨセフの助言

(1) 羊飼という職業を強調せよ。

(2) エジプトは羊飼いを忌み嫌っている。

(3) それゆえ、ゴシェンの地に住むことができる。

4. ここでの洞察力とは何か。

(1) アブラハム以来の民族の歴史の文脈を見る目

(2) 将来を見通す目

①エジプトは寄留の地

②必ずカナンの地に帰還する。

(3) 自らの役割を見る目

①エジプト文明からの隔離

②同族内での結婚

③人口の増加

結論：このメッセージは、時代の転換期に立つ人が、何に注目すべきかを教えるものである。

1. 決断力

(1) 固定概念にとらわれない。

(2) 神の御心の確認。

2. 本気力

(1) アブラハムがイサクを捧げた時の決意

(2) リーダーに求められるのは、この姿勢である。

3. 洞察力

(1) どういう視点から、この国の将来像を描くのか。政治か、経済か。

(2) 最も重要なのは、神の国の視点から、日本の将来像を描くこと。